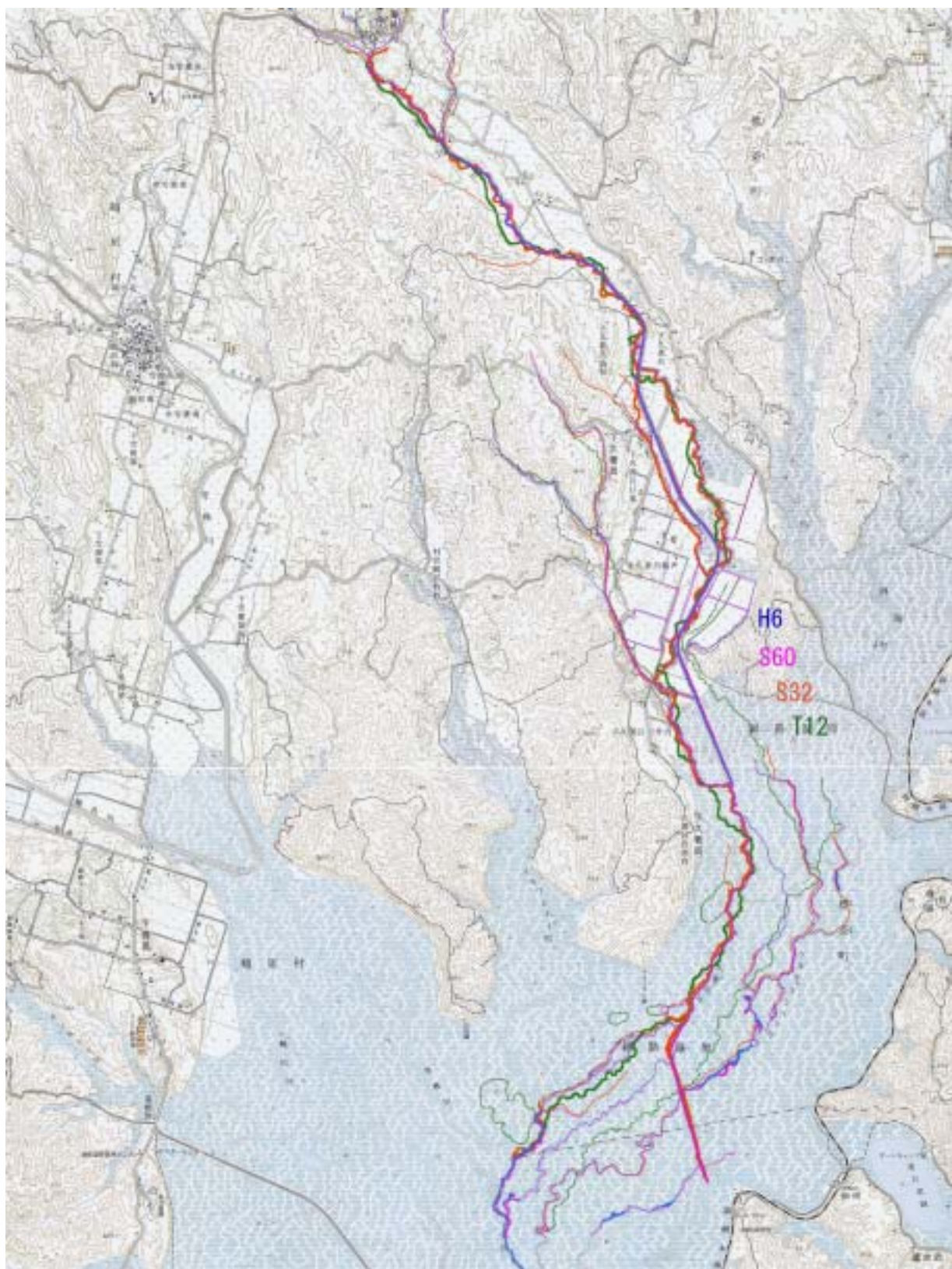
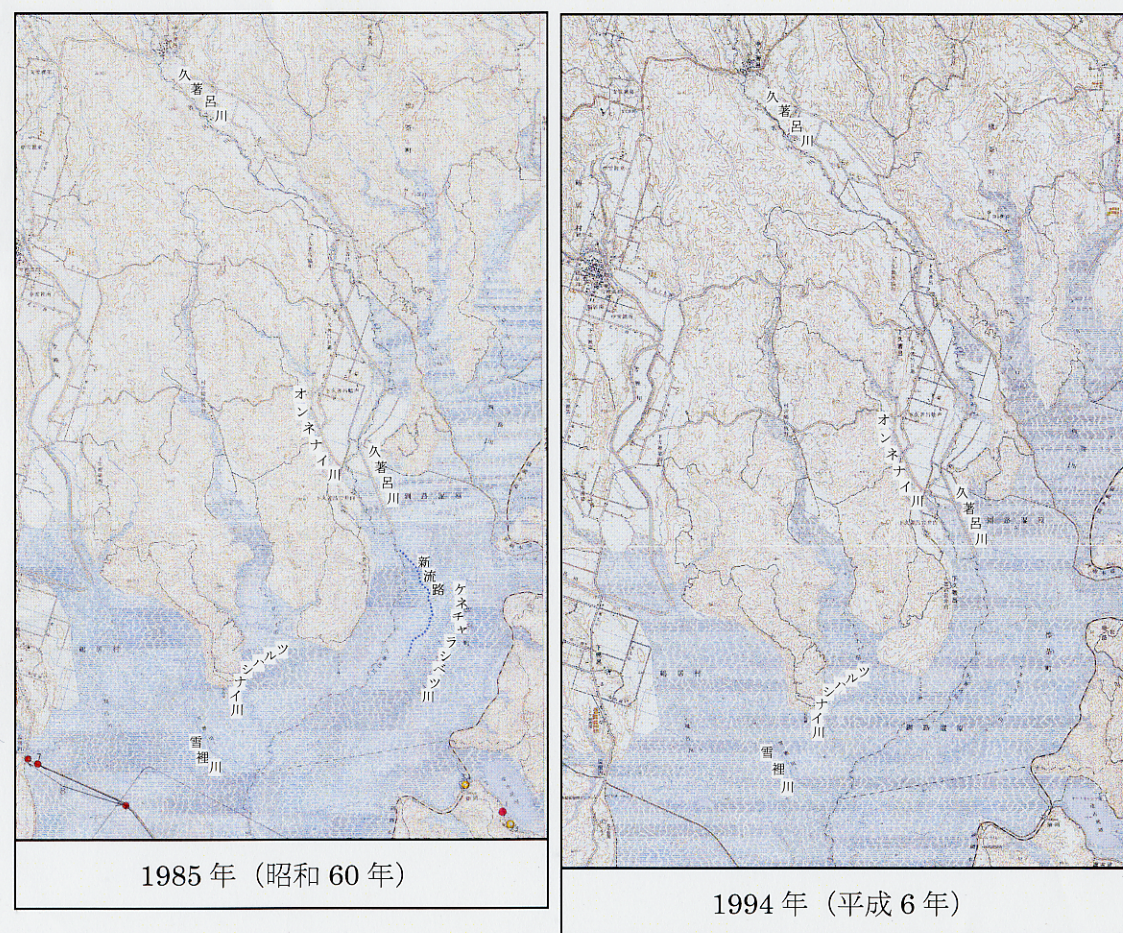
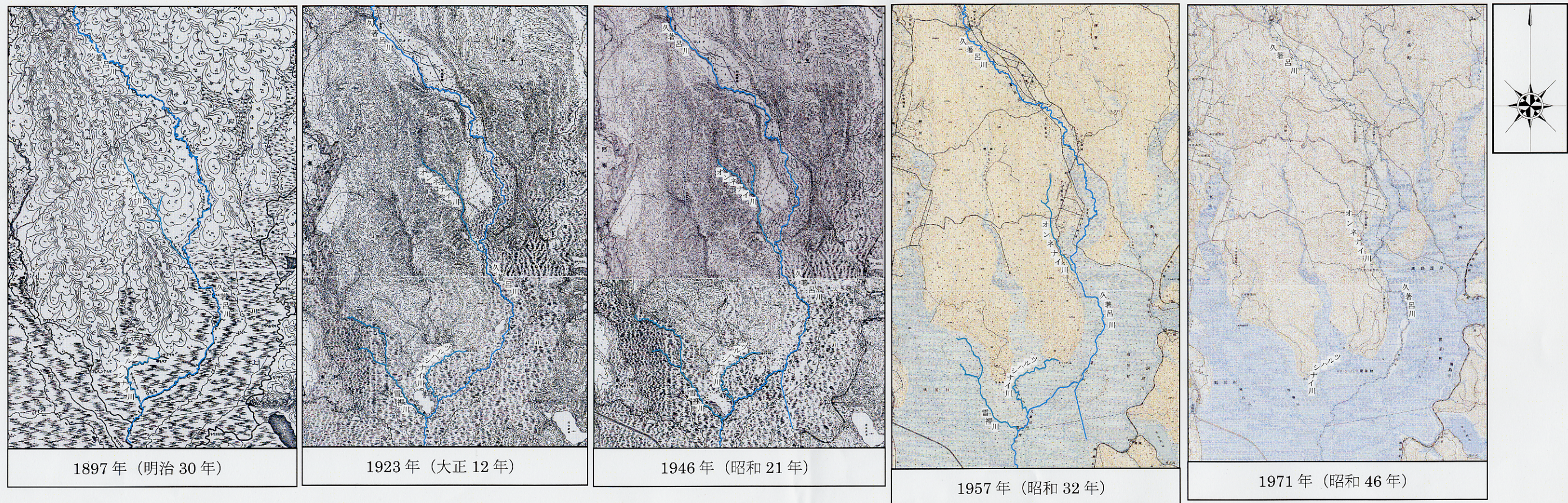


### 参考資料 - 3 久著呂川流域の変遷に関する資料



流域の変遷（大正12年～平成6年） 縮尺 1/100,000



久著呂川流域年表			
西暦	主な出来事	西暦	地形図から読み取れる変化
1904 年	久著呂入植 下久著呂青山農場に 12 戸	1946 ～1957 年	ツルハツナイ川との合流点より 2～3km および約 5km 上流で久 著呂川右岸に点在していた沼が 陸化した。
1915 年	久著呂地区 159 戸		
1920 年	釧路川大洪水		
1921 年	釧路川新水路着手	1957 ～1971 年	オンネナイ川合流点より下流約 3～6km の区間で久著呂川両岸 が乾燥し、広葉樹が生育してい る。(これ以後の地形図では湿原 の表示に戻っている。)
1927 年	40 戸入地		
1930 年	釧路川新水路完成、久著呂川新水路切替工事着手		
1931 年	久著呂川新水路切替工事完成		
1969 ～1972 年	道営開拓パイロット事業 農耕地造成 119ha、暗渠排水 110ha、他	1971 ～1985 年	改修後の久著呂川で直線化され た河道の下流に新しい流路が生 じ、久著呂川の東側を並行して流 れるケネチャラシベツ川方向に 流れている。
1972 ～1975 年	国営土地改良事業 久著呂第二地区 対象面積 1,059ha、幹線排水溝 9,210m、 久著呂川改修 6,720m、オンネナイ川改修 2,490m、 支川排水溝 3 条 2,960m、小明渠 324ha、暗渠 330ha、他		
1973 ～1976 年	道営農地開発事業 標茶町下久著呂岩井内地区 対象面積 201ha (湿原部 147ha)、 明渠排水溝 1 条 828m、暗渠排水 201ha、他		
1975 ～1977 年	道営草地開発事業 標茶町久著呂地区 対象面積 134ha (湿原部 78ha)、道路 2.7km、草地造成 110ha、他		
2000 ～2006 年	国営総合農地防災事業 鶴居第一地区 受益面積 519ha、排水路工 7.0km、暗渠排水工 508ha、他		